

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。
弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

■新規受託項目

- [-]可溶性CLEC-2(sCLEC-2)
- [-]抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体

※詳細は2頁以降をご確認ください。

■受託開始日

- 2024年5月28日(火)

以上

可溶性 CLEC-2

生体内の血小板活性化を評価するために、現在血小板第 4 因子(PF4)、 β -トロンボグロブリン(β -TG)などが使用されています。しかしながら、採血や採血後の血漿分離などさまざまな所作で容易に血小板が活性化しこれらが放出されるため、偽陽性となることが多く注意が必要とされています。

C-type lectin-like receptor-2 (CLEC-2)は血小板の膜表面に存在する受容体蛋白で、リガンドである podoplanin などと結合して血小板活性化、血小板凝集を惹起します。また、さまざまな刺激により血小板は活性化され、matrix metalloproteinase などの酵素を放出しますが、CLEC-2 はこれらにより細胞膜表面から遊離し、soluble form の CLEC-2 (sCLEC-2)が生成されます。

sCLEC-2 は PF4、 β -TG と異なり日常の臨床検査で使用される標準的な採血手順で血小板の活性化を検出できるため、動脈血栓症の発症などを予測する新しいマーカーとして期待されています。

この度、山梨大学とLSIメディエンスグループ企業の協業でsCLEC-2測定試薬を開発、同試薬による受託検査を開始しますのでご活用ください。

■検査要項

検査項目名	可溶性 CLEC-2 (sCLEC-2)
項目コード	—
検体量* / 容器	血液 2.7 mL (容器番号:15) ↓ <u>遠心</u> クエン酸血漿 0.5 mL (容器番号:02)
保存方法	凍結
検査方法	CLEIA
基準値(参考値)	57.4~150.6 pg/mL
報告上限	80,100 pg/mL 以上
報告下限	20.0 pg/mL 未満
所要日数	不定期:月 1 回
検査実施料	未収載
備考	*: 必ず血漿分離の上、ご提出ください。 3.2%クエン酸ナトリウム液 0.3mL 入り容器に血液 2.7mL を正確に入れ、全量 3.0mL にしてよく混和後、温度設定 18°C~25°C、1,500×g で 15 分以上または 2,000×g で 10 分以上遠心分離し、血漿を凍結してご提出ください。 検体提出(容器番号 02 番)は、4mL 容器をご使用ください。
検査委託先	LSI メディエンス (→1)

■参考文献

Kazama F, et al.: Platelets, 26(8): 711-719, 2015.

Sun L, et al.: Thrombosis Journal, 22(27), 2024.(doi:10.1186/s12959-024-00594-8)

抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体

潰瘍性大腸炎(UC)は、慢性の炎症性腸疾患です。

遺伝的素因、環境要因、腸管上皮のバリア機能欠陥、免疫応答の調節不全などの複数の要因が発病に関与していると考えられていますが、発症原因は依然として不明です。現在、CRP、便中カルプロテクチン、などが UC の診断補助検査として用いられていますが、血液を使った簡便且つ特異的な検査はまだ存在しません。

インテグリンは、細胞外マトリックスに結合して細胞接着を媒介するタンパクです。特に、インテグリン $\alpha v \beta 6$ は腸管上皮細胞に発現し、基底膜側に発現するフィブロネクチンと結合し強固な腸管バリアを形成します。

このインテグリンに対する自己抗体が UC 患者で特異的に検出されることが 2021 年に京都大学のグループより報告されました。

炎症などにより腸管バリアが損傷を受けた際に、この自己抗体が存在するとバリア機能修復が阻害され、炎症が慢性化することが推定されることから UC の発症および病態に関与していると考えられています。

今回、インテグリン $\alpha v \beta 6$ に対する抗体の検査受託を開始しますのでご活用ください。

■検査要項

検査項目名	抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体
項目コード	—
検体量 / 容器	血液 1 mL (容器番号:01) ↓ <u>遠心</u> 血清 0.3 mL (容器番号:02)
保存方法	凍結
検査方法	EIA
基準値(参考値)	2.20 U/mL 以下
報告上限	9,990,000 U/mL 以上
報告下限	0.500 U/mL 未満
所要日数	不定期:月 1 回
検査実施料	未収載
検査委託先	LSI メディエンス (→1)

●参考文献

Kuwada T, et al.: Gastroenterology, 160(7), 2383-2394, 2021.